

メタカラコウ

Ligularia stenocephala (Maxim.) Matsum. et Koidz.
キク科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：要注目

【環境省カテゴリー】—

選定理由

生育環境の悪化で減少している。産地に限られる。

分布

本州から九州に分布。県内では奥越に分布する。

種の特徴

深山の沢沿いに生える多年生草本。高さ0.6～1m。葉は三角状心形、長さ約25cm、長い柄がある。先は短く尖り、基部は左右に少し張り出す。花期は7～9月。頭花は黄色、総状につく。舌状化は1～4個。

生育を脅かす要因

林道工事、森林伐採、産地局限、自然遷移。

参考文献 清水建美ほか（2014）、福井県植物研究会（1998）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
															○	○	

ミズキカシグサ

Rotala rosea (Poir.) C.D.K.Cook
ミソハギ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：県域絶滅危惧Ⅰ類

【環境省カテゴリー】絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

湿地開発や水田の乾田化による生育環境の消失や、農業の多用によって著しく減少した。1964年以降の採集記録がない。

分布

本州から琉球に分布。県内では若狭町、おおい町、小浜市、南越前町、大野市で50年以上前の採集記録がある。

種の特徴

水田や湿地に生える一年生草本。茎は高さ10～30cm、よく分枝する。葉は対生し、披針形、長さ0.6～2.5cm、幅2～5mm。花期は8～11月。花は紅色、葉腋につく。蒴果は球形、直径約2mm、紅紫色。

生育を脅かす要因

産地局限、湿地開発、圃場整備、農薬汚染。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982b）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○	○			○			○								○	

ケゴンアカバナ

Epilobium amurense Hausskn.
アカバナ科

【福井県カテゴリー】新：要注目

旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

産地局限。

分布

北海道、本州（近畿地方以北）、四国に分布。県内では大野市での記録がある。

種の特徴

山地の谷沿いや湿った林床に生える小形の多年草。茎は高さ20～30cm前後になる。イワアカバナに似るが、茎の2列の稜線上の屈毛が顕著である。葉は長楕円形～卵状披針形、脈上と縁に毛がある。7～9月、淡紅色の花を咲かせる。

生育を脅かす要因

森林伐採、踏圧、生育地へのシカの分布拡大による食害。

参考文献 福井県植物研究会（1998）

市町別生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	